

医療機器に大きな期待

製造業
22社参加
米子で開発セミナー

企業を対象にした医療機器開発セミナーが1日、米子市久米町の米子全日空ホテルであり、京都大学再生医科学研究所の田畑泰彦教授(55)が「再生医療分野における医療機器開発ニーズ」と題して講演した。県産業振興機構が主催し、県内の製造業22社37人が参加した。

企業を対象にした医療機器開発のある医療機器分野への新規参入や新たな製品開発支援を目的に昨年11月、県内の企業や鳥取大、県産業技術センターなど産官学連携で「とっとり医療機器関連産業戦略研究会」を設立。セミナーは研究会の取り組みの一環として行われた。田畑教授は、人工多能性幹細胞(iPS細胞)や人体の自然治癒の仕組みなど



再生医療分野でのビジネスチャンスについて講演する田畑泰彦教授

再生医療の最先端事情について解説。「細胞の培養装置といった研究用機器や、培養した細胞を患部にどこまらせるための特殊な素材などの開発分野は、ものづくり企業の方が必要不可欠」と、新たなビジネスチャンスの可能性を示唆した。